

県内景況は、業種を問わず物価高騰で収益確保に苦慮

人材確保、インボイス制度への対応等課題が山積

～景況DI値は、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス7.9～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 10月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比47.3ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比10.6ポイント低下のプラス26.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス5.2。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス52.6。非製造業では、前月比47.3ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比15.7ポイント低下のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス26.3。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のプラス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比10.5ポイント上昇のマイナス7.9、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス7.9となった。製造業では、引き続き原材料価格、エネルギーコストの高止まりの影響が続いており、先行き不透明な状況が続いている。また、一部の業種で価格転嫁が追いつかず、収益確保に苦慮している。非製造業では、秋の行楽シーズンを迎え、インバウンド等の需要回復により売上高は前月比で好転したものの、物価高騰の影響による販売価格の上昇が消費マインドを減退させるなど、業況は引き続き厳しい。県内景況は、業種を問わず電気代や副資材等諸経費の値上げによる経費負担の増加が続いており、収益の確保に苦慮している。また、価格転嫁の交渉の停滞や人手不足の深刻化などに加え、インボイス制度への対応に苦慮するなど、課題が山積しており業況は引き続き厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

10月の全国倒産は、件数790件で、（前年同月594件、33.0%増）と、18カ月連続で前年同月を上回り、3月（800件）に次いで今年2番目に多かった。2023年1－10月の累計件数は6,918件となり、すでに2022年通年（6,376件）を上回り、コロナ禍前の水準に近づいている。

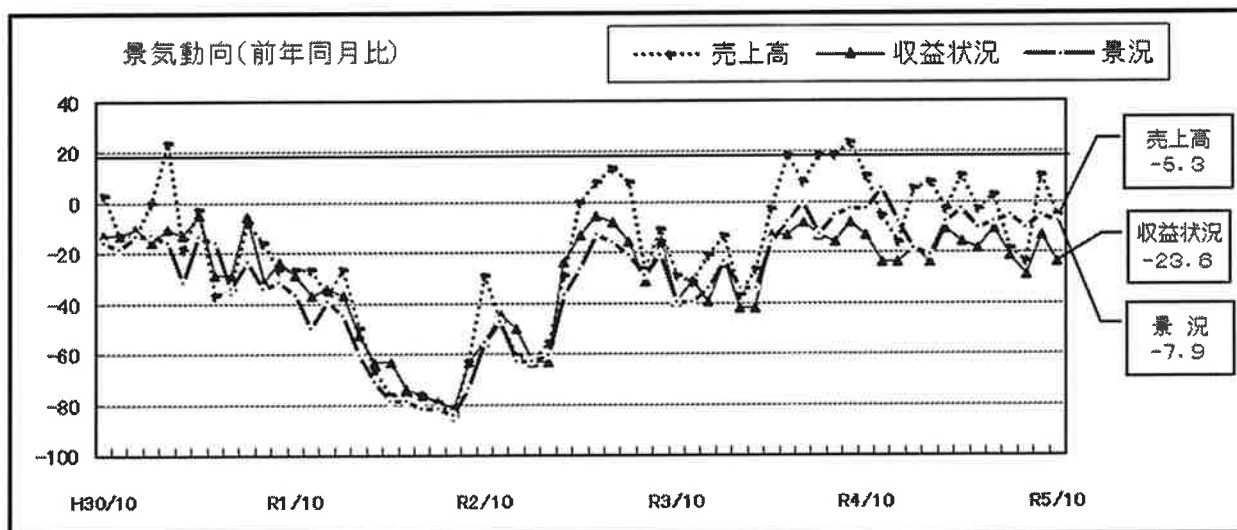
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月3件）、負債総額は5,800万円（前月12億9,200万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」）

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.37倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.29倍）で、前月より0.01ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.15倍、米子所1.58倍、倉吉所1.44倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.25倍（季節調整値）で、前月より0.24ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比13.0%減少し、有効求人数も10.7%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他（13.8%）、宿泊業・飲食サービス（9.3%）、医療・福祉（0.1%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比11.3%増加、有効求職者数は前年同月比2.4%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.25倍で、前年同月を0.12ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ7.4%減少した。



10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	15.8%	10.5 5.3	42.1%	21.1%	21.0 47.3	34.2%	18.4%	15.8 26.3
(2) 在庫数量	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	0.0%	16.7%	16.7 8.3	0.0%	16.1%	-16.1 -6.5
(3) 販売価格	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	15.8%	15.8%	0.0 5.3	7.9%	15.8%	-7.9 2.6
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	2.6%	5.3%	-2.7 0.0
(5) 収益状況	5.3%	15.8%	-10.5 21.0	31.6%	5.3%	26.3 47.3	18.4%	10.5%	7.9 34.2
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	5.3%	5.3%	0.0 26.3	2.6%	7.9%	-5.3 15.8
(7) 設備操業度	0.0%	5.3%	-5.3 5.2						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	0.0%	0.0 10.5	0.0%	5.3%	-5.3 5.2
(9) 景 況	0.0%	26.3%	-26.3 5.3	15.8%	5.3%	10.5 15.8	7.9%	15.8%	-7.9 10.5

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	57.9%	-36.8 -21.0	47.4%	21.1%	26.3 -10.6	34.2%	39.5%	-5.3 -15.8
(2) 在庫数量	0.0%	26.3%	-26.3 -5.2	0.0%	8.3%	-8.3 -16.6	0.0%	19.4%	-19.4 -9.7
(3) 販売価格	26.3%	21.1%	5.2 5.2	52.6%	10.5%	42.1 -5.2	39.5%	15.8%	23.7 0.1
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	13.2%	-13.2 0.0
(5) 収益状況	5.3%	57.9%	-52.6 -5.3	21.1%	15.8%	5.3 -15.7	13.2%	36.8%	-23.6 -10.5
(6) 資金繰り	5.3%	26.3%	-21.0 10.5	5.3%	5.3%	0.0 -5.3	5.3%	15.8%	-10.5 2.7
(7) 設備操業度	5.3%	42.1%	-36.8 -5.3						
(8) 雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	5.3%	15.8%	-10.5 0.0
(9) 景 況	10.5%	36.8%	-26.3 0.0	26.3%	15.8%	10.5 -5.3	18.4%	26.3%	-7.9 -2.7

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、砂糖、油脂等）や、包装資材等副資材価格の高止まりにより、厳しい業況が続いている。最低賃金の引き上げにより、求人募集を行っても時給の高い会社へ流れ、応募者が少なく苦慮している。

醤 油⇒ 販売価格の上昇により受注量が減少しており、収益の改善に至っていない。輸出について欧米向けはコロナ禍以前並みに戻りつつあるも、中国向けは前年比で10%程度落ち込んでいる。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 秋物は例年に比べ追加増産の発注が極端に少なくなった。人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。

ニット製品⇒ 長引く円安は輸入依存の高い繊維業界ではマイナス面が大きく、業況は先行き不透明な状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。物価高騰による販売価格の高止まりが続いており、仕入価格等経費の上昇が収益状況を悪化させるなど、先行きは依然として厳しい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量は前月比でともに横ばい、合板の生産量は前月比で増加となった。建築需要は引き続き低調で、製材品の動きに活発さは感じられない。プレカット加工の稼働率は、前月比5%増加、前年同月比50%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で横ばい、前年同月比減少で推移、景況は厳しい状況が続いている。

【印 刷】

⇒ 前月に引き続き業況は上向いてきているものの、原材料費、光熱費等諸経費高騰の影響が続いており、先行き不透明な状況が続いている。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加となった。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 10月の生コン出荷量は、前月比で約2%増加、前年同月比で約15%減少となった。東部地区を中心に引き合いが弱く、前年割れが続いている。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げから生コン価格の値上げがなされたが、一部民間工事計画の見直しや延期が見られる。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金 属 加 工⇒ 建築関係は、県内でも民間物件の動きが出ているが、仕事量は少なく、価格面での折り合いがつかず厳しい。全国的な建築需要の停滞により、地方

の中小企業の景況は厳しくなっている。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。電気代、人件費や諸経費の物価高騰に加え、低価格競争も加わり価格転嫁どころか厳しい状況が続いている。

鉄骨加工⇒ 県外発注の工事に徐々に動きが見られ、東部・中部では公共工事の受注を確保できている。鋼材価格の高止まりが続いており、電気代等の価格転嫁も十分にはできておらず、厳しい業況が続くことが予想される。

金属熱処理⇒ 10月の受注状況はイレギュラーな受注があったため、前月、前年同月を若干上回ったものの、ほとんどの金属加工業で生産活動の低迷状態が続いている。原材料、エネルギー等の価格転嫁を図るも根拠の提示を求められるなど、交渉が難航している。価格転嫁が為されない間は赤字価格のままで生産を続けなければならず、下請末端の企業ほど厳しい状況が続いている。

【電気機械器具】

⇒ 原材料調達に係るサプライチェーンは改善され、スムーズに納入されてきている。原材料価格高騰が続いており、利益確保に苦慮している。受注が大幅に減少しており、先行きは依然不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比では取扱数量は増加しているものの、単価の低下により売上高は減少した。前年同月比では、単価の上昇によって、売上高は増加したが、夏場に高温が続いたことにより、野菜等の生育が影響を受け、取扱数量は減少した。鮮魚関係では、売上高、取扱数量とも前年比、前年同月比で減少している。単価については、前年比で増加傾向が続いている。インボイス施行による、対応の煩雑化が顕著となっている。仕入れ価格の値上がりが続いており、価格転嫁せざるを得ない状況。

中部地区⇒ 物価高騰の影響は先月と変わらず厳しい状況。DXへの関心が高まっているものの、設備投資には慎重な姿勢が見られる。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で減少した。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見される。

水産物⇒ 巻き網は上旬に小羽イワシの豊漁が続いたものの、中旬以降アジ中心の混獲漁（対象種と別の種を意図せず漁獲）となり冷蔵庫等の施設稼働率は若干低迷した。備蓄量の減少により国内外向けの冷凍魚の動きは活発であり、サバ等を中心とする次期の水揚げに期待が持たれる。近海物・底引き漁は総じて良好であり、釣り船によるスルメイカ・白イカがまとまり全国的に注視される水揚げとなった。紅ズワイガニ漁も好天にめぐまれ昨年を大きく上回る水揚げとなり、姿鮮魚向けのサイズは外食・宅配向けと前年を上回る相場となった。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比ともに減少となった。売上高についても前月比、前年同月比ともに減少で推移し、依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、業況は厳しい。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、仕入価格高騰に係る価格転嫁は一定程度進んでいるものの、円安や原材料費の高騰から仕入価格の値上げが相次いでおり、すべてを価格に転嫁することはできていない。光熱費、ガソリン価格の高騰等、ネガティブな要因が多く、消費マインドが停滞している。引き続き飲食、宿泊関係は戻りつつあるも、人手不足で需要に応えられないなど状況は深刻化している。最低賃金の上昇は人件費負担の増加に繋がっており、経費負担が利益を圧迫している。秋の様々なイベントが中心市街地各所でも実施され、イベント時には一定程度集客はあるが、顧客化や日常的な来街増に繋がっていない。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、行楽シーズンを迎え、個人客は増加したものの、商店街への入れ込みにつながらず厳しい状況。10月は2年後の県立美術館の開館に向け『福高祭 2023～アートで福高～』を開催。タレントで画家のジミー大西氏を迎えてトークショーを行った。また、JAZZ や民謡踊り、ライブドローイングなどを企画し、約4,000人が来街するなど大いに賑わいを見せた。今後は姉妹商店街提携を結んでいる倉敷の商店街と街おこしとなる企画を計画していく。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、10月は広場を使ったイベントなど特に実施しなかった。12月には米子南高校の生徒によるイベントを実施予定。

境港市の水産物小売では、行楽シーズンが本格化したことにより観光客が増加し、売上も増加につながった。11月からは松葉ガニのシーズンを迎えるため、観光客の増加に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、連休の入込数は増加し、以降も天候が良く砂の美術館、鳥取砂丘への入込数は前年並みで推移した。売上高は前月比で増加、前年同月比では不変となった。

米子市のホテル・旅館では、秋の行楽シーズンを迎え、宿泊客を中心に増加したことから売上高は前月比で増加、販売価格も上昇したことから収益状況も好転した。前年同月比では旅行マインドが高まりインバウンドも増加傾向にあることから売上高は増加、収益状況も好転し、業界の景況は好転してきている。原材料費の高騰により、宿泊単価の設定に苦慮している。

三朝温泉では、10月は行楽シーズンを迎え、多くの観光客で賑わいを見せた。月末にかけて台湾のチャーター便、米子ソウル便の運航再開により外国人観光客が増加傾向にある。

羽合温泉では、10月の宿泊客は前月比で横ばい、前年同月比で1割程度減少した。売上高については宿泊単価の増加により前月比、前年同月比ともに横ばいで推移した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,189台で前月比が約7%

減少、前年同月比は約7%の増加となった。中古車は653台で前月比約3%減少、前年同月比は約30%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は15,298台となり前月比で1%減少、前年同月比は約7%増加した。自動車整備としては全体的に増加傾向となっている。

【建設業】

⇒ 9月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額106億円（前年同月比18.2%増加）、件数174件（前年同月比19.4%減少）となった。年度累計（令和5年4月～令和5年9月）は、請負金額543億円（前年同月比12.7%増加）、件数990件（前年同月比1.7%減少）となった。住宅投資、設備投資ともに単月、3ヵ月平均ともに前年比でマイナスとなった。公共投資は単月、年度累計ともに前年同月比プラスが続き、基調として一部弱さが見られるも、持ち直しの動きは続いている。建設資材価格の高止まりやエネルギーコスト増に加え、技術者等の深刻な人手不足が継続しており、業況は厳しい。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は193戸（持家126戸、貸家67戸）で、前月比16%増加、前年同月比15%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 9月の物流は、製造業の出荷量に増加傾向が見られたほか、農作物（新米）の出荷輸送も始まり概ね荷動きは増加してきている。復路輸送は荷物の情報量も増加傾向にあるも、厳しい状況は続いている。売上高は前月比、前年同月比で増加となった。燃料価格は高止まりが続いており、収益の低下につながり業況は厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については補助金効果が見られ大幅に減少したものの、価格水準はここ近年において、高い水準には変わらない状態は続いている。運送関連受注については、例年並みに推移したものの、車両整備、車検などの大型車両整備工場は作業の遅れが見られ、スムーズな稼働に支障をきたしている。また、人員不足の影響が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・インボイス制度が経営に不利益を与えないよう、仕組みを見直してほしい。【卸売業】
- ・国民個々の減税のみではなく、消費税の減税など経済を動かす施策を望む。【卸売業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。また、飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売 上 高	製 造 業	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	21.0
	非製造業	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	5.3
	全 業 種	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	13.2
在庫数量	製 造 業	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-10.6
	非製造業	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	8.3
	全 業 種	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-16.1
販売価格	製 造 業	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-36.9
	非製造業	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	-31.5
	全 業 種	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	-34.2
取引条件	製 造 業	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	15.8
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3
	全 業 種	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	5.2
収益状況	製 造 業	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	15.8
	非製造業	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	15.8
	全 業 種	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	15.8
資金繰り	製 造 業	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2
	非製造業	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	-10.5
	全 業 種	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	-7.9
設備操業度	製 造 業	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	5.3
雇用人員	製 造 業	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	-5.3
	全 業 種	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7
景 況	製 造 業	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	10.5
	非製造業	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	10.5
	全 業 種	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	10.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売 上 高	製 造 業	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-31.5
	非製造業	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	-0.1
	全 業 種	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-15.8
在庫数量	製 造 業	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-42.1
	非製造業	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	-8.3
	全 業 種	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-29.0
販売価格	製 造 業	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	-42.2
	非製造業	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	5.3
	全 業 種	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	-18.4
取引条件	製 造 業	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	0.0
	非製造業	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-15.8
	全 業 種	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-7.9
収益状況	製 造 業	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-5.3
	非製造業	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	-15.7
	全 業 種	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-10.5
資金繰り	製 造 業	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	5.3
	非製造業	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-15.8
	全 業 種	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-5.3
設備稼働率	製 造 業	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-26.3
雇用人員	製 造 業	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.3
	非製造業	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-5.2
	全 業 種	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-5.3
景 況	製 造 業	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-5.3
	非製造業	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	-5.3
	全 業 種	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	19.1

情報連絡員報告総括表(令和5年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製造業	食料品	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0		
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0		
	木材・木製品	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	4	0	0	1	3		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1		
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0		
	化学ゴム																													
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0		
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0		
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1		
輸送用機器																														
その他																														
非製造業		19	5	11	3	0	16	3	0	16	3	1	17	1	1	15	3	0	17	2	0	18	1	0	17	2	0	14	5	
		100%	26.3%	57.9%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	73.7%	26.3%		
	卸売業		0	4	2	0	5	1	1	3	2	0	6	0	0	6	0	0	6	0				0	6	0	1	5	0	
	小売業		1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	商店街		1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1	
	サービス業		4	1	0			1	4	0	0	5	0	4	1	0	1	0	1	4	0			0	5	0	2	3	0	
	建設業		1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	運輸業		1	0	1			0	1	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0	
	その他																													
		19	8	7	4	0	9	2	3	13	3	0	18	1	6	12	1	1	17	1				0	19	0	3	15	1	
業		100%	42.1%	36.8%	21.1%	0.0%	75.0%	16.7%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	63.2%	5.3%	89.5%	5.3%				0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	78.9%	5.3%		
		38	13	18	7	0	25	5	3	29	6	1	35	2	7	27	4	1	34	3	0	18	1	0	36	2	3	29	6	
		100%	34.2%	47.4%	18.4%	0.0%	80.6%	16.1%	7.9%	76.3%	15.8%	2.6%	92.1%	5.3%	18.4%	71.1%	10.5%	2.6%	89.5%	7.9%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	7.9%	76.3%	15.8%	

情報連絡員報告総括表(令和5年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	
	繊維工業	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	1	1	0	3	0	0	2	1	1	1	1	1	2	0	
	木材・木製品	0	0	4	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	4	0	0	4	
	紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	
	一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
輸送用機器																												
その他																												
19	4	4	11	0	14	5	5	10	4	0	16	3	1	7	11	1	13	5	1	10	8	1	14	4	2	10	7	
100%	21.1%	21.1%	57.9%	0.0%	73.7%	26.3%	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	36.8%	57.9%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	52.6%	42.1%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	52.6%	36.8%	
非製造業	卸売業	2	2	2	0	6	0	3	2	1	0	5	1	1	4	1	0	6	0				0	5	1	1	4	1
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	1	0	
	商店街	1	2	1	0	3	1	2	2	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0			0	4	0	0	4	0	
	サービス業	3	2	0				3	1	1	0	5	0	2	3	0	1	4	0				1	4	0	3	1	1
	建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1			0	1	0	0	0	1	
	運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0			0	1	1	0	2	0	
	その他																											
	19	9	6	4	0	10	1	10	7	2	0	17	2	4	12	3	1	17	1			1	16	2	5	11	3	
	100%	47.4%	31.6%	21.1%	0.0%	83.3%	8.3%	52.6%	36.8%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%			5.3%	84.2%	10.5%	26.3%	57.9%	15.8%	
	38	13	10	15	0	24	6	15	17	6	0	33	5	5	19	14	2	30	6	1	10	8	2	30	6	7	21	10
100%	34.2%	26.3%	39.5%	0.0%	77.4%	19.4%	39.5%	44.7%	15.8%	0.0%	86.8%	13.2%	13.2%	50.0%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	52.6%	42.1%	5.3%	78.9%	15.8%	18.4%	55.3%	26.3%	